

シニア★ハイスクール

～世代を超えて現在へ～

現状

- ◎コロナ禍で高校生と祖父母の会う機会が減った
- ◎地域の高齢者の方々と関わる機会が少ない
- ◎高齢者に対してのイメージがついている
(会話が合わなそうなど…)



一人暮らしの高齢者が増加している

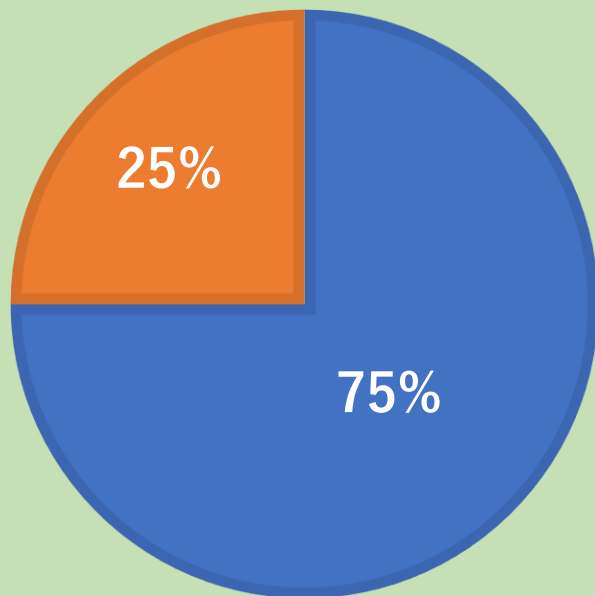
高校生が高齢者に対してマイナスのイメージがある
→単なるイメージにすぎない

そこで… シニア★ハイスクール

スマホをうまく使えない高齢者×情報社会の中にいる高校生
= **新しい交流の場**がつかれるのではないか

高齢者におけるスマホの保持率

■ 持っている ■ 持っていない



【高齢者がもつスマホへのイメージ】

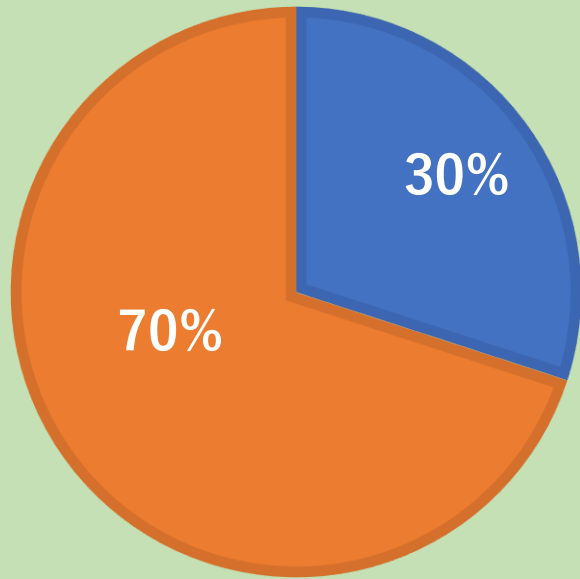
- ◎操作・設定が難しい
- ◎慣れるまでに時間がかかる
- ◎字が小さい
- ◎いろんな事が出来すぎて逆に覚えるのが大変
- ◎何が分からないのかもわからない
- ◎分からないツールが多すぎて使い切れない

(クラス40人の祖父母への調査)

【高校生】

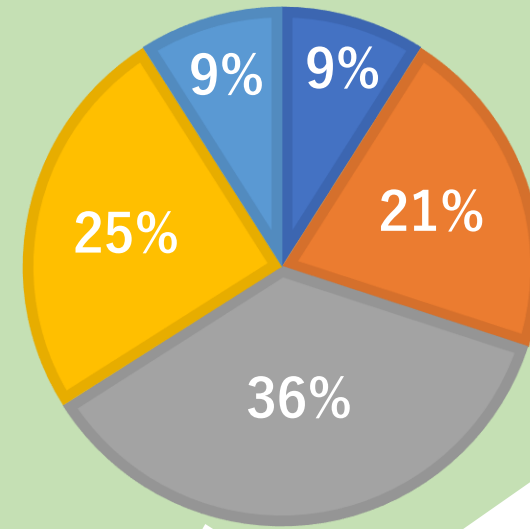
祖父母と一緒に暮らしているか

■ 住んでいる ■ 住んでいない



「住んでいない」と答えた人の中でどのくらいの頻度で話したり連絡しているのか

■ 1週間に1回 ■ 1か月に1回 ■ 半年に1回 ■ 年に1回 ■ それ以上



【高校生がもつスマホのイメージ】

- ◎便利・毎日欠かせないもの
- ◎暇があれば使ってしまう
- ◎情報源になっている
- ◎音楽・動画見放題
- ◎勉強にも使える



スマホに対するイメージが全く違う！

ステップ1

アプリのカードを作って**ゲーム感覚**で覚えてもらう
→カルタみたいな感じにして楽しんでもらう



ステップ2

実際にスマホを使って**基本的な動作**を知ってもらう
→電話のやり方、メールの受け取り方、返事の仕方
アルバムの見方、写真の撮り方、ネットの見方など

ステップ3

誰が一番スマホを理解しているのかゲームする
(例)高校生が教えずどこまでできるのか
写真の撮り方→アルバムの見方→電話の仕方・少しずつ難しくしていく
最後に残った人が**スマホマスター**になれる！

簡単なアプリから

天気アプリ



写真の撮り方



アルバムの見方

その他…

- ・高校生と高齢者がペアになりスマホを使ってゲームをして戦う
（例）文字早打ち対決、写真対決など
- ・すべてクリアできた人には「シニアハイスクール卒業証書」を発行する



場所

回覧板や町内放送で声かけをして人を集める

- ・使わなくなった空き教室
- ・公民館などの公共の施設
- ・デイサービスの老人ホーム など…